

編集後記

今は夏真っ盛り、気温は32度を超えています。外では蝉時雨、家の中では子供時雨。

今年は終戦60年、戦後世代が国民の70%を超え、戦争で苦勞された世代がだんだん高齢化し、種々の教訓が、少しずつ風化しているように感じます。

この9月号が皆様のお手元に届く頃には、心地よい秋風が吹き、夏が遠い昔のように思い出される頃だと思えます。今回の特集テーマは「専門工事業・リースレンタル業」、建設業界を支える大きな存在でありながら、今まで取上げられなかったテーマ。9月号で初めてチャレンジしてみました。

ところで、最近のニュースの一つは、「Cool Biz (クールビズ)」。温室効果ガス削減のために、夏のエアコンの設定温度を28度に。そんなオフィスで快適に過ごすために、環境省ではノーネクタイ・ノー上着ファッションを提唱しました。全ての事業所等において、夏の冷房温度を26.2度から28度に1.8度上げるとすると、一夏で約160万トン~290万トンの二酸化炭素を削減出来るそうで、これは、京都議定書の削減目標(マイナス6%)の約0.1~0.2%に相当し、京都議定書目標達成計画の中で、オフィスビルに割当てられ

た削減量の約5~9%に当たるそうです。

しかし、クールビズは外回りの営業マンには無縁のものでした。一日中ネクタイを締めスーツを着て炎天下を歩き、28度に設定されたビル廻り、ベルトの穴が一つ違ってきました。そして、この冬に来るのは「Warm Biz」、そして来年は夏時間へのチャレンジか。

これらを実施すればかなりの二酸化炭素の排出抑制に繋がると思えます。しかし、来年の夏はクールビズ姿の営業マンが受入れられる状況であって欲しいと思います。

2番目のニュースは、郵政民営化、9月11日の選挙の行方が注目されます。この号がお手元に届く頃には決着が着いていることと思えます。これは日本の政治の大きな変化の始まりか? 目が離せません。

そして3番目には、2007年問題、戦後生まれの団塊世代の退職。技術の伝承は上手く行くのだろうか。何とか日本の素晴らしい技術を次の世代に繋げていきたい。これは製造業ばかりでなく建設業界、特に専門工事業にとっても大きな問題であるとおもいます。

その他、世界水泳、世界陸上、高校野球、宮城沖地震など、注目すべきニュースの多い夏でした。これらのニュースを振り返りながら編集後記と致します。

(岡本・村上)

機関誌編集委員会

編集顧問

浅井新一郎	石川 正夫
今岡 亮司	上東 公民
岡崎 治義	加納研之助
桑垣 悦夫	後藤 勇
佐野 正道	新開 節治
関 克己	高田 邦彦
田中 康之	田中 康順
塚原 重美	寺島 旭
中岡 智信	中島 英輔
橋元 和男	本田 直史
渡邊 和夫	

編集委員長

村松 敏光

編集委員

清水 純	国土交通省
西園 勝秀	国土交通省
照井 敏弘	農林水産省
夏原 博隆	鉄道・運輸機構
植松 和弘	日本道路公団
新野 孝紀	首都高速道路公団
坂本 光重	本州四国連絡橋公団
平子 啓二	水資源機構
吉村 豊	電源開発
松本 敏雄	鹿島
和田 一知	川崎重工業
岩本雄二郎	熊谷組
嶋津日出光	コベルコ建機
金津 守	コマツ
山崎 忍	清水建設
村上 誠	新キャタピラー三菱
星野 春夫	竹中工務店
銅冶 祐司	東亜建設工業
中山 努	西松建設
森本 秀敏	日本国土開発
斉藤 徹	NIPPO
梅本 慶三	ハザマ
三柳 直毅	日立建機
岡本 直樹	山崎建設
庄中 憲	施工技術総合研究所

10月号「海外の建設施工 特集」予告

- ・日本の建設業と海外工事
- ・インド プルリアル揚水式発電所工事
- ・香港 ストーンカッターズ橋工事
- ・シンガポール 下水道泥土圧φ7.2mシールド
- ・アメリカ フーバー橋施工
- ・マレーシア キンタダム建設
- ・世界の安全基準
- ・海外建設受注の動向

No.667 「建設の施工企画」 2005年9月号

(定価) 1部840円(本体800円)
年間購読料9,000円

平成17年9月20日印刷

平成17年9月25日発行(毎月1回25日発行)

編集兼発行人 小野 和日兄

印刷所 株式会社 技報堂

発行所 社団法人 日本建設機械化協会

〒105-0011 東京都港区芝公園3丁目5番8号 機械振興会館内

電話 (03) 3433-1501; Fax. (03) 3432-0289; <http://www.jcmanet.or.jp/>

施工技術総合研究所	〒417-0801 静岡県富士市大淵 3154	電話 (0545) 35-0212
北海道支	部〒060-0003 札幌市中央区北三条西 2-8	電話 (011) 231-4428
東北支	部〒980-0802 仙台市青葉区二日町 16-1	電話 (022) 222-3915
北陸支	部〒951-8131 新潟市白山浦 1-614-5	電話 (025) 232-0160
中部支	部〒460-0008 名古屋市中区栄 4-3-26	電話 (052) 241-2394
関西支	部〒540-0012 大阪市中央区谷町 2-7-4	電話 (06) 6941-8845
中国支	部〒730-0013 広島市中区八丁堀 12-22	電話 (082) 221-6841
四国支	部〒760-0066 高松市福岡町 3-11-22	電話 (087) 821-8074
九州支	部〒810-0041 福岡市中央区大名 1-8-20	電話 (092) 741-9380